



園芸作物栽培に関する

これからの対策

Q & A

◎野菜作りで健康維持を

JAたんなんで野菜作りの指導にあたって7年目を迎えています。この間、JAたんなんの野菜生産組合員も高齢化し、組合員の平均年齢も5才は上昇してきているのではないかと思います。しかしほとんどの組合員は元気で野菜作りに精を出しております。中には野菜作りからリタイヤされる方もおられますが、その要因は膝や腰の不具合によるものが多く、認知症が原因でリタイヤされた方は一人も居られないことは特筆すべきことと思います。野菜作りは手足、指先は常に動かしませんが圃場の利用・作付け計画から野菜の世話や作業の段取りなど、常に頭も使わなければならず、常日頃こつこつと身体や頭脳を働かせることが認知症の予防に大変役立つのではないかと思います。よく病気や怪我で寝たきり生活に入ると急速に認知症になってしまつていふことを聞きます。健康で長生きの奨めで様々なエウササイズが示されておりますが、長続きしないのが現状かと思えます。しかし野菜は日々生育してゆくと、いつの間にも継続して体を動かすこととなります。太陽が昇ると同時に起きだして、早朝の清々しい空気を吸い込んで圃場に立つことが一番の健康法ではないかと思っております。

◎今冬の気象経過について

今冬はかつてない暖冬となり、小寒に入っても全く雪の降る気配がないどころか、1月上旬から梅や椿、桜などの開花がニュースとなり、日野川の堤防には既に菜の花が咲いており、直売所ではフキノトウが並べられております。圃場に目をやると越冬作物の生育が進んでおり、タマネギなどはずいぶん大きく育っています。長期予報でも、協力を発達したエルニーニョ現象は衰える気配がないことから、全般としてはあまり降雪量も少なくて済みそうな様相となっております。

◎農作物への影響について

これほどの暖冬はこれまでも経験していないので、農作物の生育はどのような影響を受けるか想像も難しい状況となっております。良い面としては、冬場が高値のイチゴの出荷は非常に順調に経過しており、平年なら雪の下で漬かされてしまつ「ロッキー」やキャベツも収穫が続いています。

一方心配されるのはタマネギ、ニンニク、エンドウ、ソラマメなど越冬野菜です。このまま順調に春になってゆけばよいのですが、生育が進んだ上で、寒の戻りや降雪・積雪に見舞われると、地上部の腐敗や傷み、早期抽苔による肥大不良や分球が多発する可能性があります。最近の相談でもタマネギが進み過ぎて心配であるとの相談も受けますが、暖冬の中で生育を止める手段はなく経過を見守るしかありません。

また、冷え込みが無いので、越冬した害虫も多くなっていることと思っております。すでにハウスダイコンではネキリムシの被害が例年になく多く集まって来ますが、今冬は例年ほど見掛けません。野山など自然の中で充分越冬できるからでしょうか？これら害虫も春になれば活動が活発になって来ますし、越冬害虫の個体数が多ければ多いほど被害も酷くなつてきます。さらに温暖化の影響で微小な害虫の発生が多くなつてきています。中には肉眼で視認できない害虫もあり、防除も困難になってきています。従つて、これからは作付け前の土壌処理剤等の施用は欠かせなくなつてきております。

◎野菜栽培にあたって留意すべきこと

通常丹南地域では積雪のため2月は休養用ですが、今年はずっくり出来ずともありません。越冬野菜の追肥もこの分だと第1回目は2月下旬の早い時期に行つておきます。ただ、暖冬の年に気をつけなければならぬことは、遅霜の被害が起きやすいことです。伸び始めた新芽や新葉が急な降雪で凍死してしまつたためです。翌朝降雪が予想される日は前日

の夕方には不織布などのベタかけを行います。

また、春先の追肥ですが、まだまだ地温が低いいため肥料は水溶性で土中に浸透しやすい速効性の「ネキリムシ」か「ネキリムシ」を使用します。有機質肥料や有機の入っている化成肥料では効きが悪いので施用効果が得られませんのでお薦めできません。また、施用にあつても一時に多く与えても、根の吸収力が弱いいため肥料が雨で流れてしまつ割合が高く、有機物含有量の少ない圃場ではさらに流亡の割合が高くなりますので、少量ずつ分施すると効果が上がります。



ネギのハモグリバエ被害状況



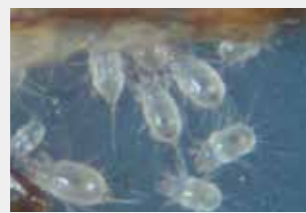
ホウレンソウケナガコナダニの被害葉



コナジラミによるトマトの煤カビ症状



皮に食い込んでいるハモグリバエの幼虫



極小さいケナガコナダニの顕微鏡写真



葉裏に群生するコナジラミ



コガネムシの幼虫もネキリムシ類とされる



キスジノミハムシの食害痕



アザミウマに吸汁され褐変したキク



ネキリムシの代表格プラヤガの幼虫



キスジノミハムシも2mm程度と極めて小さい



アザミウマも幅0.5mm、長さ2mmと極小

	土壌処理剤 育苗期処理剤 (※は劇物)	使ってよい野菜							効果のある害虫					
		カンショ	キュウリ	サトイモ	スイカ	トマト	ナス	パレイシヨ	非結球 アブラナ科	メロン類	アザミウマ	アブラムシ	コナジラミ	ネキリムシ類
殺虫	カルホス微粒剤F※	○			○								○	
	ジェイエース粒剤		○			○	○	○		○	○	○		キスジノミハムシ
	スタークル粒剤		○		○	○	○		○	○	○			キスジノミハムシ
	ダイアジノン粒剤5	○	○		○	○	○	○						
	ダントツ粒剤	○	○		○	○	○	○	○	○	○			
	ネマトリンエース粒剤		○	○	○	○	○	○	○	○	○			ダニ・線虫
	ネマモール粒剤30※	○	○		○									ネズミ・モグラ
	フォース粒※	○											○	キスジノミハムシ
	プリロツソ粒剤		○			○	○			○	○	○		
殺菌	ベストガード粒剤		○		○	○	○		○	○	○			
	モスピラン粒剤		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	モベントフロアブル		○		○	○	○	○	○	○	○			ダニ・コナダニ
	ネビジン粉剤											○	○	
	フロンスイト粉剤											○	○	

大門 優
園芸アドバイザー
お問合せ先
東部ふれあいセンター内営農課
TEL.51-8004
TEL.070-1296-1499

バックナンバーはJAたんなんホームページ
http://ja.tannan.com/営農手帳をご覧ください。